



# 1 枠の組立て・取付け

- ① 枠をビスで組立ててください。  
(レールは、後で取付けてください)  
※4方枠の場合は、下側もビスで固定してください。

- ② 組立てた枠を、下地にビスで固定してください。

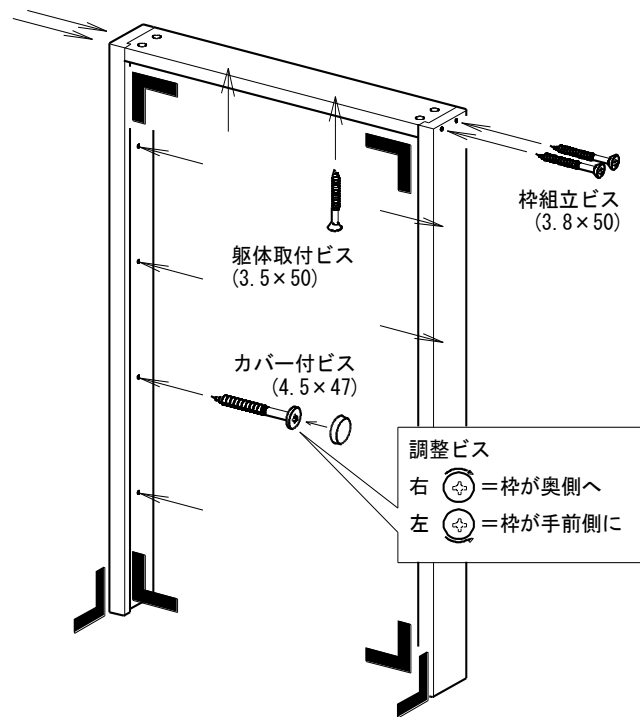
- ③ 縦枠を下地に固定するためのリード穴があるので、カバー付ビスを締付けて固定してください。  
(左右各4か所)

## 注意

調整ビスを締め込み過ぎますと、ビスカバーが取付かない可能性があります。

## 注意

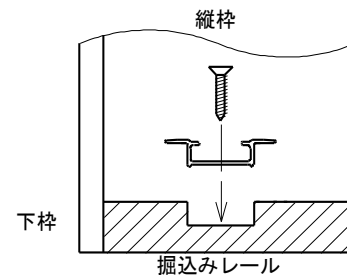
柱の垂直と、床・梁の水平を、下げ振や水準器などでご確認のうえ、取付けてください。



# 下レール

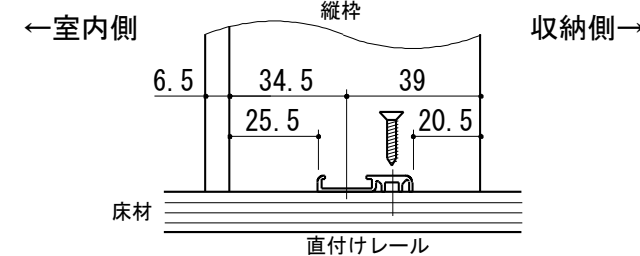
## 掘込みレール(下枠付き)の場合

- ① 掘込みレールを下枠にビスで固定してください。

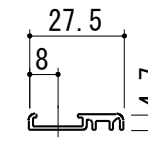


## 直付けレールの場合

- ① 直付けレールを床材にビスで固定してください。



## 【レール形状】

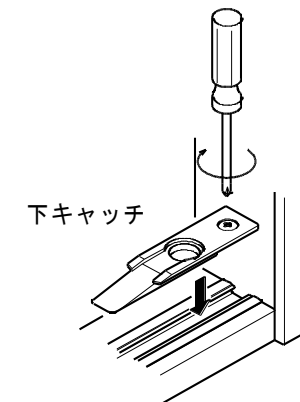


## 注意

レール取付け用の型紙を使用して、正しい位置と向きで取付けてください。

# 下キャッチ

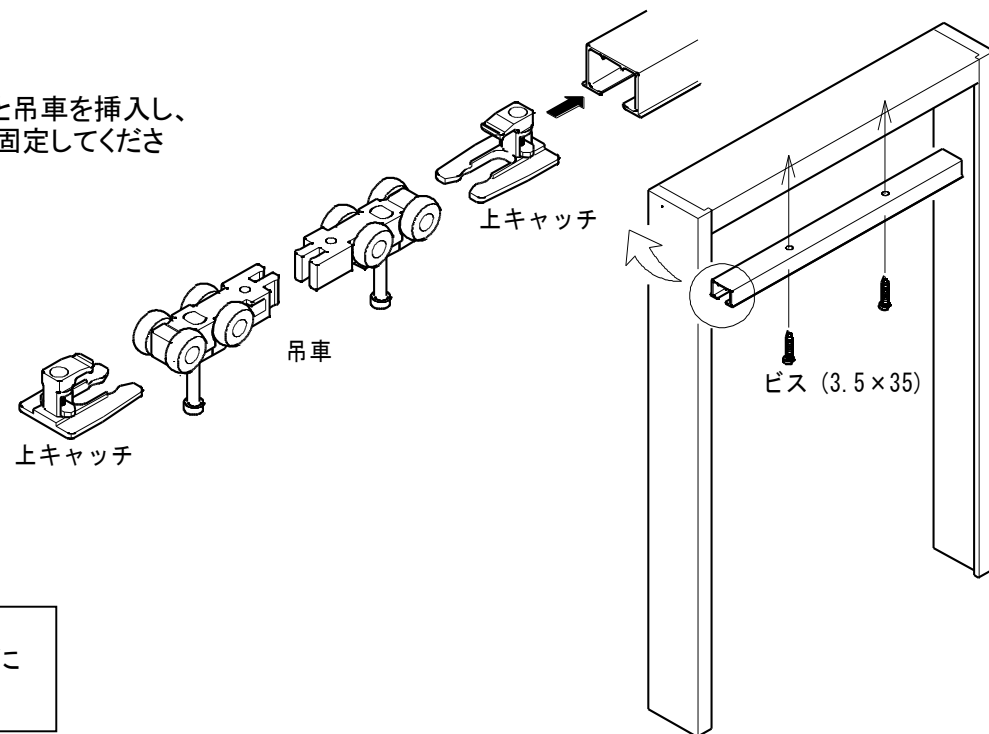
- ① 下レールに、下キャッチを取付けてください。



# 2 部品の取付け

## 上レール


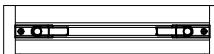

- ① 上レールに上キャッチと吊車を挿入し、レールを上枠にビスで固定してください。



## 注意

吊車の挿入方向にご注意ください。

## 《キャッチ部品の数量》

2枚折れ		4枚折れ 6枚折れ 8枚折れ	
1個		2個	
右吊り			
左吊り			

# 使用上のご注意

- 扉の近くでストーブなどのご使用は避けください。  
(扉が反ったり、表面がゆがんだりする原因になります。)
- 扉や枠の清掃には、シンナーなどの薬品を使わないでください。

!

施工にあたってのご注意

- この説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付をしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品の破損や異常、また付属品の内容をご確認ください。万一商品の異常や部品不足があった場合は、販売店または阿部興業(株)までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1m以上離して作業してください。

性能表示に関するお問い合わせ

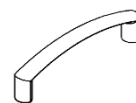
・ 製造者	阿部興業株式会社
・ 問い合わせ先	<a href="http://www.abekogyo.co.jp">http://www.abekogyo.co.jp</a>
・ ロットナンバー	梱包及び製品本体に記載

## 部品構成

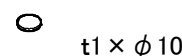
### 【扉梱包】

部 品 名	3尺用	4.5尺用	6尺用	9尺用	12尺用
扉本体	1	2	2	3	4
取手(ビス付)	1	2	2	3	4
クッション t1×φ10	—	2	2	4	6

取手



クッション

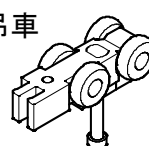


### 【部品梱包】

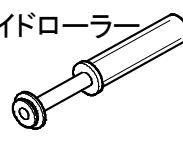
部 品 名	3尺用	4.5尺用	6尺用	9尺用	12尺用
吊車	2	4	4	6	8
ガイドローラー	2	4	4	6	8
打込パイプ	1	1	1	1	1
上キャッチ	1	2	2	2	2
下キャッチ	1	2	2	2	2

※ この部品は、部品梱包の中に入っています。  
扉梱包には入っていません。

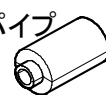
吊車



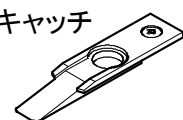
ガイドローラー



打込パイプ



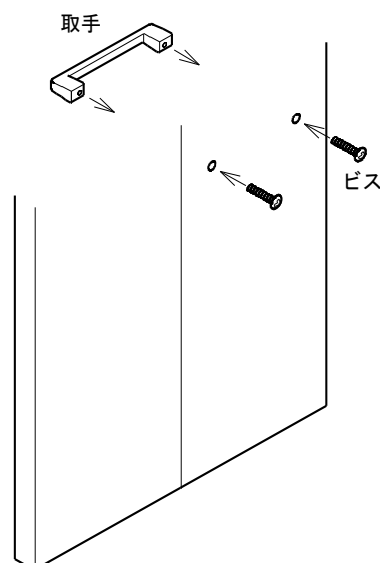
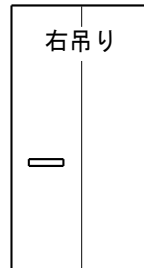
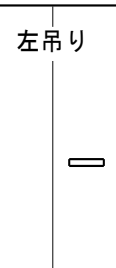
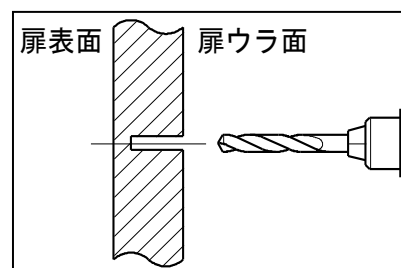
下キャッチ



## 1 部品の取付け

### 取手の取付け

- ① 扉の左右勝手を決めて、吊元側の反対の扉に裏面から取手取付け穴をキリφ5で貫通させて、取手をビスで取付けてください。

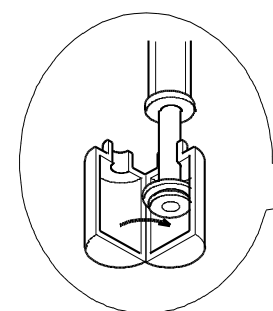


### ガイドローラーの取付け

- ① 打込みパイプを使って、ガイドローラーを扉の下部に打込んでください。

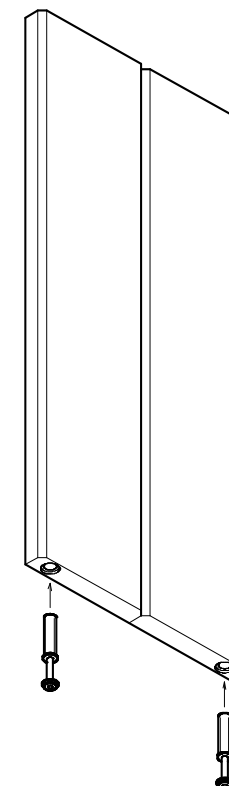
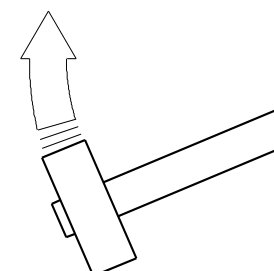
#### 注意

金づち等で直接ガイドローラーを叩くと、破損の原因となります。  
必ずパイプを当てて打込んでください。



ガイドローラー

打込みパイプ



裏面もご覧ください

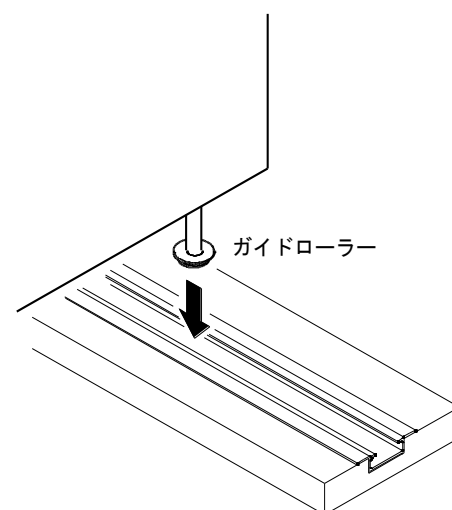
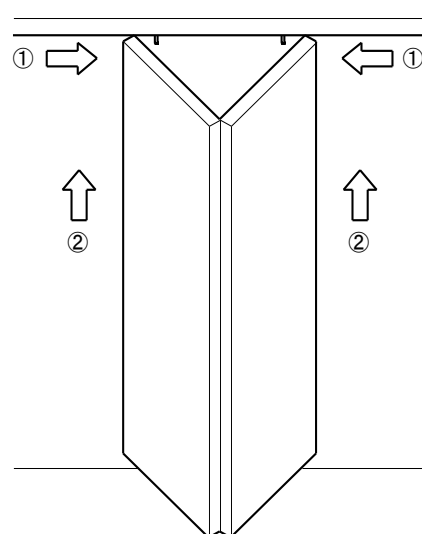
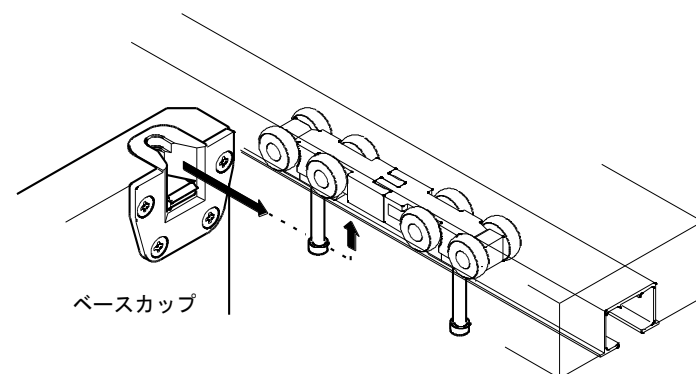
REV収納扉 REV-MH-D-1602

## 2 扉の吊込み

- ① 扉下部のガイドローラーを下レールに入れてください。
- ② 扉を折たたんで、扉裏面のベースカップの溝に、吊車の軸をはさみ込んでください。
- ③ はさみ込んだ状態から扉を持上げると、軸がベースカップに差込まれ、接合できます。

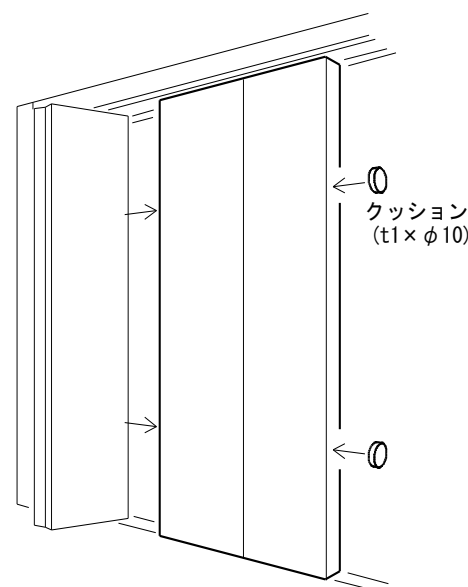
### 注意

吊車の軸は、ベースカップに「カチャッ」と音がするまで完全に差込んでください。誤った取付けをしますと、扉が外れて、人身事故や家財の破損を引起す原因となります。



## クッションの貼付け

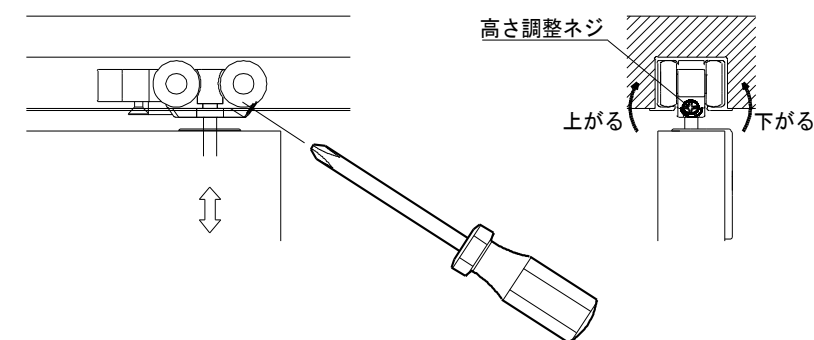
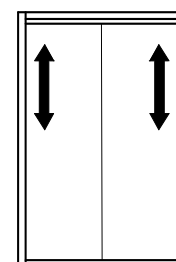
- ① 扉と扉の隙間を調整するために、扉木口にクッション (t1 × φ10) を貼ってください。



## 3 扉の調整

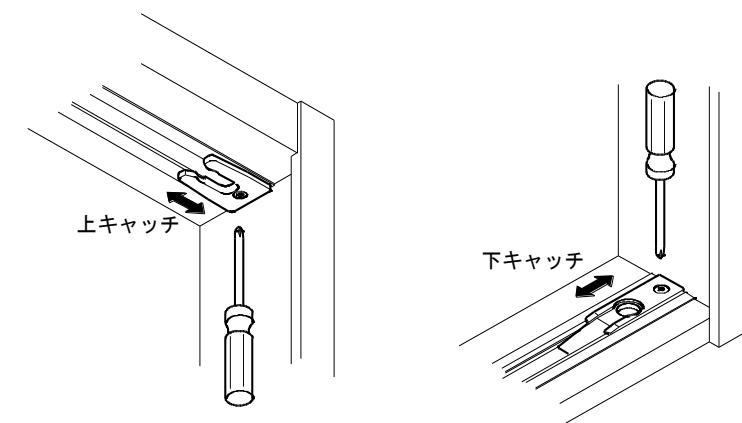
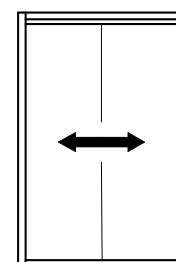
### 上下調整

- ① 吊車の高さ調整ネジを、ドライバーで回して調整してください。



### 左右クリアランス調整

- ① 上・下キャッチのビスをゆるめ、左右にずらし調整してください。

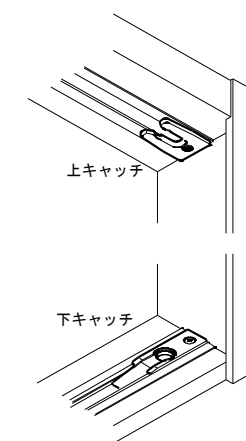


## 上・下キャッチについて

- ① 上・下キャッチは、扉の吊元側の軸を固定する部品です。これによって、扉の開閉がピボットタイプと同様の動作になります。
- ② 軸固定をキャッチから外す場合は、扉を強めに横移動させます。これによって、扉はフルオープンタイプの動作になります。

### 注意

各キャッチのビス固定が不十分ですと、動作に不具合が発生する可能性がありますので、固定ビスは強く締付けてください。



## 使用上のご注意

- 扉の近くでストーブなどのご使用はお避けください。(扉が反ったり、表面がゆがんだりする原因になります。)
- 扉や枠の清掃には、シンナーなどの薬品を使わないでください。